

臨床研究のお知らせ

筑波大学附属病院腎泌尿器外科では、病気で困っている患者さんの診断法、治療法を向上させるため、他の複数の施設とともに下記の臨床研究を行いたいと考えています。研究を行うにあたっては、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。もしも、下記の研究内容に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報が用いられることにご質問などのある方やご同意をいただけない方は、下記の連絡先へご連絡ください。また、ご本人からご連絡いただくことが難しい場合は、ご家族等の代理の方がご連絡いただければ幸いです。

1. 研究課題名

人工知能を利用した次世代高画質膀胱癌内視鏡視認システムの構築

2. 対象患者

当院にて2006年4月1日から2016年11月30日の間に膀胱がんのため、膀胱内視鏡検査や経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)をうけられたの患者さんを対象としています。

3. 研究の目的

膀胱鏡内視鏡画像を人工知能に学習させることで、画像の客観的な評価手法を確立し、膀胱がんの診断と治療の質を高めることを目的としています。

4. 研究の方法

あなたの診療情報を収集させていただきます。この研究のために新たな処置・検査等は行われません。

そのため、研究に参加することにより特別に負担が増えるものではありません。

あなたの診療情報は、下記の項目を収集させていただきます。

- ・膀胱内視鏡検査またはTUR-BT施行時の年齢、性別
- ・膀胱癌の画像情報：正常粘膜、腫瘍位置、腫瘍範囲
粘膜異常の有無（有る場合：発赤、表面の凹凸、範囲）
- ・画像情報に対応する病理組織診断

5. 研究に参加することによって得られる効果と予測される結果

予想される効果は医学の進歩への貢献です。最終的には、あなたがこの研究に参加していただいた結果が、将来の膀胱がん患者さんの診断、治療に有益な情報を提供していただくことになり、膀胱がんの診断、治療に大変役立つことになると思われます。

6. 研究で得られた情報の開示・提供について

この研究で得られた情報は、共同研究者である特定国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター（責任研究者：野里博和）へ患者さん個人が一切特定されない形で提供させていただき、共に解析を行う予定です。

また、この研究の結果は、学会などでの発表、論文として医学雑誌などへの発表に使用される予定です。個々の患者さんに結果をお知らせすることはありませんが、開示請求をいただければ、対応させていただきます。

7. 本研究に関する連絡先

この研究でわからないことや心配なことがありましたら、いつでも担当医師または以下の問い合わせ先（相談窓口）におたずねください。

【問い合わせ先】筑波大学附属病院 腎泌尿器外科 研究事務局 池田篤史（責任研究者）・小島崇宏
TEL. 029-853-3223（平日、午前9時から午後3時まで）